

福知山公立大学情報学部設置に関する要望書
(事業所・団体等)

福知山公立大学情報学部設置に関する要望書一覧(事業所・団体等)

	団体・機関名、役職	住所
1	日東精工株式会社	京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
2	株式会社但馬銀行	兵庫県豊岡市千代田町1番5号
3	福知山商工会議所	京都府福知山市字中ノ27
4	舞鶴商工会議所	京都府舞鶴市字浜66
5	綾部商工会議所	京都府綾部市西町1丁目50-1 ITビル4F
6	与謝野町商工会	与謝野郡与謝野町四辻150
7	京都府漁業協同組合	京都府舞鶴市字下安久1013-1
8	西日本旅客鉄道株式会社 福知山支社	福知山市駅前町415
9	株式会社大滝工務店(KOKIN)	京都府舞鶴市字南田辺126-5
10	京都北都信用金庫	宮津市字鶴賀2054-1
11	京都農業協同組合 福知山支店	京都府福知山市篠尾字長ヶ坪115-12
12	株式会社日進製作所	京丹後市峰山町千歳22
13	WILLER TRAINS 株式会社 (京都丹後鉄道)	宮津市字鶴賀2065-4
14	宮津商工会議所	京都府宮津市字鶴賀2054-1
15	豊岡商工会議所	兵庫県豊岡市大磯町1-79
16	丹波市商工会	丹波市氷上町成松140-7
17	福知山重工業株式会社	京都府福知山市字堀1965-2
18	株式会社 浅田可鍛鑄鉄所	京都府福知山市長田野町1丁目29
19	福知山企業交流会	京都府福知山市字中ノ27

要 望 書

平成 30 年 12 月 3 日

福知山公立大学理事長・学長
井口 和起 殿

情報学部新設構想について

このたび貴学が設置準備を進めておられます情報学部について、早期に設置されますこと、以下のとおり要望いたします。

我が国は、少子高齢化が急速に進行し、人口減少時代が到来しています。大都市圏や都市部では人口過密の問題が、地方では人口過疎と若年層が都市部へ移動することによる高齢化問題が顕在化し、地域社会の衰退が進んでいます。それは、北近畿地域でも例外ではなく、持続可能な地域経済を確立するため、各企業においても大胆な経営刷新への努力が求められているところです。情報化の波が押し寄せ、IoT・ビッグデータ・AI等の進化したICTの利活用なくしては、企業経営は取り残される時代となりつつあります。

しかしながら、地方経済を支える商工業の実態は、情報化時代が到来する中、経営戦略や情報戦略に対応できる人財が都市部に比較して非常に少なく、小規模な事業所においては、時代に応じた商品開発やマーケティングを支援し事業を発展させるための高度情報社会に対応し切れていないという困難な状況にあります。

地方の商工業者によるさまざまなサービスは、国民生活を日常的に底辺から支える重要な役割を担っています。私どもを例に取りましても、効率の良いモノづくりにより企業競争力を高め、事業を成長させることにより雇用を創出し、末永く社会に貢献するというのが経営者の使命であると信じております。

ICT, AI 社会に対応した経営改革によって持続可能性を確立し発展することは、魅力ある地域社会づくりに欠かせないことです。

貴学が目指す地域社会で実践するための情報学は、まさに人財と情報技術の両面から、北近畿地域をはじめとする地方社会にとって最も必要とされるものと理解しています。

是非とも、情報学部が早期設置されますことを要望いたします。

日東精工株式会社

代表取締役社長 材木 正己



要 望 書

平成30年12月10日

公立大学法人 福知山公立大学

理事長兼学長 井口 和起 殿

情報学部新設構想について

貴学におかれましては、日ごろより地域の活性化および地域人材の育成につきましてご尽力いただいておりますことを御礼申し上げます。

さて、弊行の営業地域においては高齢化の進行と人口流出にともない、地域経済は縮小傾向にあります。

弊行におきましては、地方創生の取組みを推進するなかで、地元企業や行政と連携したU・Iターンの促進や人材育成などの事業を通じて、地域の中小企業の成長支援ならびに地域の活性化に向けた取組みをすすめています。

足許ではフィンテックやAIなどの新分野が台頭し、地方と都市部における情報格差が縮小するなか、地域への人材還流を促進することが喫緊の課題であると考えられます。

こうしたなか、貴学が構想されている情報学部は、データサイエンスやICT、AIなどの最先端の情報学の成果を地域社会に還元する取組みであり、学生を地域社会に貢献できる人材として育成することを目標にしています。

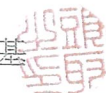
貴学の情報学部設立は、都市部から遠く離れた北近畿地域でも、ビッグデータやICT等が活用できる人材育成や環境整備への取組みの第一歩となり、地域の企業に大きな恩恵をもたらすことが期待されます。

弊行は、地域社会との連携を目指す貴学の情報学部構想の趣旨に賛同し、同学部が早急に新設されることを要望いたします。

兵庫県豊岡市千代田町1番5号

株式会社 但馬銀行

代表取締役 倉橋 基



福商議発 87号
平成30年11月27日

要 望 書

福知山公立大学理事長・学長
井 口 和 起 様

情報学部新設構想について

このたび貴学が設置準備を進めておられます、地域社会への貢献を主要な目的とする（仮称）情報学部について、地元経済団体として以下要望いたします。

人口減少時代に入って、日本全体が経済規模の縮小や人出不足の影響を受ける中で、特に地方においては若者を中心とする人口流失が止まらず、急速な人口減少と超高齢化による地域経済の衰退は、地域社会の存続が危ぶまれるまで深刻化しています。

当地方もその例に漏れず、中・長期な視点で見ますとデジタル革命の急速な進展の中、各産業で大きな構造変化が生じており、ICT、AI社会への対応は避けられない状況であります。

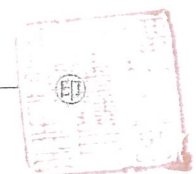
しかし、現状は時代に即応した商品開発やマーケティング、新たな時代に適応する経営戦略や情報戦略に十分対応しきれておらず、IT人材の不足は深刻な状況であります。

今後、このような環境変化の中で、特に中小・零細企業が持続可能な成長を図っていくためには、自社の強みを再確認して新たなビジネスモデルを模索し、その中でAIやIoTを活用するなど、柔軟かつ積極的な対応求められています。

このような状況の下、貴大学が目指す地域社会のための情報学は、まさに地域が求める人財と情報技術の両面から、当地方をはじめとする日本の地方社会にとって最も必要とされるものであり、人材育成の根幹をなすものであると理解しています。

是非とも、貴大学において情報学部の新設を進めていただきたく、また、同学部が早期に設置されることを切に要望いたします。

福知山商工会議所
会 頭 谷 村 絃



要望書

平成 30 年 12 月 27 日

福知山公立大理事長・学長
井口和起 様

情報学部新設構想について

このたび貴学が設置準備を進めておられる、地域社会への貢献を主要な目的とした（仮称）情報学部について、以下の通り要望いたします。

人口減少時代に入って、日本全体が経済規模の縮小や人手不足の影響を受けるなか、特に地方においては、若者を中心とする人口流出が止まらず、急速な人口減少と超高齢化によって地域社会が衰退し、一部の地域ではその存続が危ぶまれるまで深刻化しています。北近畿地域もその例に漏れず、地域住民のニーズに応え、持続可能な地域経済を確立するための ICT、AI 社会に対応した産業構造の改革とともに、各企業には大胆な経営刷新への努力が求められています。

しかしながら、地域経済を支える商工業の実態は、比較的大手の企業でさえも新たな時代に適応するための経営戦略や情報戦略に対応できる人財が都市部と比較して非常に少ない状況です。また、小規模な事業所においては、時代に即応した商品開発やマーケティングに取り組もうとする場合にも、地域の特性を理解し地域に密着して、高度情報化社会に充分対応できる支援者が不足している状況です。

地方の商工業者は、国民生活を日常的に根底から支えるさまざまなサービスを提供する重要な役割を担っています。それらの事業活動が ICT、AI 社会に対応した経営改革によって持続可能性を確立し発展することは、魅力ある地域社会づくりに欠かせないことです。

貴学が目指す地域社会のための情報学は、まさに人財と情報技術の両面から、北近畿地域をはじめとする日本の地域社会という現場にとって最も必要とされるものと理解しています。是非とも情報学部の新設を進めていただきたく、情報学部が早急に設置されることを要望いたします。

舞鶴商工会議所
会頭 小西剛



要 望 書

平成30年11月15日

福知山公立大学
理事長・学長 井口和起 殿

情報学部新設構想について

このたび貴学が設置準備を進めておられます地域社会への貢献を主要な目的とする（仮称）情報学部について、以下要望いたします。

人口減少時代に入って、日本全体が経済規模の縮小や人手不足の影響を受ける中で、特に地方においては若者を中心とする人口流出が止まらず、急速な人口減少と超高齢化による地域社会の衰退は、一部の地域社会ではその存続が危ぶまれるまで深刻化しています。北近畿地域もその例に漏れず、地域住民のニーズに応え、持続可能な地域経済を確立するためのICT、AI社会に対応した産業構造の改革とともに、各企業における大胆な経営刷新への努力が求められています。

しかしながら、地域経済を支える商工業の実態は、比較的大手の企業においては新たな時代に適応するための経営戦略や情報戦略に対応できる人財は都市部に比較して非常に少なく、また小規模な事業所においては、時代に即応した商品開発やマーケティングを支援し事業を発展させるための行政や商工団体の体制と人財が新たな高度情報社会に充分対応しきれてないという困難な状況にあります。

地方の商工業者によるさまざまなサービスは、国民生活を日常的に底辺から支える重要な役割を担っています。それらの事業がICT、AI社会に対応した経営改革によって持続可能性を確立し発展することは、魅力ある地域社会づくりに欠かせないことです。

貴大学が目指す地域社会のための情報学は、まさに人財と情報技術の両面から、北近畿地域をはじめとする日本の地方社会という現場にとって最も必要とされるものと理解しています。是非とも情報学部の新設を進めていただきたく、同学部が早急に設置されることを要望いたします。

綾部商工会議所
会頭 塩田展康



30与商工発第88号
平成30年11月22日

福知山公立大学
理事長・学長 井口和起様

与謝野町商工会
会長 足立 経彦



福知山公立大学「情報学部」設置に関する要望書

晩秋の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、北近畿地域連携会議の運営等、当地域産業の振興・発展にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、人口減少時代に入って、日本全体が経済規模や人手不足の影響を受ける中、特に地方においては若者を中心とする人口流出が止まらず、急速な人口減少と超高齢化による地域社会の衰退は、一部の地域社会ではその存続が危ぶまれるまで深刻化しています。

このような中、当北近畿地域もその例に漏れず、地域住民のニーズに応え、持続可能な地域経済を確立するためのICT、AI社会に対応した産業構造の改革とともに、各企業における大胆な経営刷新への努力が求められています。

しかしながら、地方経済を支える商工業の実態は、比較的大手の企業においても新たな時代に適応するための経営戦略や情報戦略に対応できる人財は都市部に比較して少なく、特に小規模な事業所においては困難な状況にあります。

私ども地方の商工業者による様々なサービスは、国民生活を日常的に支える重要な役割を担っており、それらの事業がICT、AI社会に対応した経営改革によって持続可能性を確立し発展することは、魅力ある地域社会づくりにとって欠かせないことです。

以上のことに鑑み、現在貴大学が設置準備を進められている「情報学部」(仮称)は、まさに人財確保と情報技術進展の両面から、北近畿地域をはじめとする日本の地方社会にとって最も必要とされるものであり、同学部を早急に設置いただきますよう強く要望いたします。

平成30年11月29日

公立大学法人 福知山公立大学
理事長 井口 和起 様

情報学部を設置に係る要望書

このたび、貴学にて取り組まれております情報学部の設置について下記のとおり、要望いたします。

記

京都の海は、対馬暖流や丹波山地からの栄養豊かな河川の恩恵を受けて、豊かな漁場が形成され、四季折々の魚介類が水揚げされています。

また、対馬暖流と日本海固有水である冷たい海水の影響を受けて、マグロやブリなどの暖流性の魚だけではなく、ズワイガニ、ハタハタなどの冷水性の魚種も漁獲されています。

しかしながら、近年は温暖化の影響もあり、海水の表面温度の上昇、海氷の減少、酸性化といった変化が起こっています。

様々な要因により、漁獲量は年々減少傾向にあり、漁業関係者においては深刻な問題となっています。

このような中、我々漁業関係者も、人工知能（AI）やIoTなどの情報技術を駆使し、より効率的な漁業の実施に向け、様々な分野において情報化を図るべく、取り組んでいるところであります。

貴学にて設置される情報学部では、あらゆる分野における情報の分析や実践、情報技術の活用など、地域における人材不足を補うとともに、漁業の振興に寄与いただけるものと心から期待をしております。

つきましては、京都府の漁業の発展のために、貴学から排出される人材に期待するとともに、地域の活性化に貢献いただくため、早期の情報学部の設置を要望いたします。

団体名 京都府漁業協同組合
代表者名 代表理事組合長 西川 順之輔



要 望 書

2018年12月12日

福知山公立大学理事長・学長
井口 和起 殿

情報学部新設構想について

この度、貴学が設置準備を進めておられる情報学部の早期の設置について、以下の通り要望いたします。

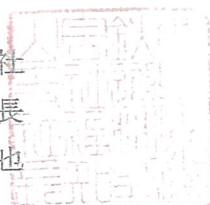
JR西日本グループを取り巻く環境は、人口減少とそれに伴う労働力の減少、自然災害の激甚化、グローバル化の更なる進展など、非常に厳しい状況にあります。これらの環境変化への対応は、今までの取り組みに加えてIoTやAI、ビッグデータをはじめとする新技術を活用していくことが不可欠です。

JR西日本グループの基軸である鉄道事業では、鉄道の運行やそれを支える設備の保守管理に大きな人手を割いており、激甚化する自然災害への対策も含め、今後の労働力の減少への対応が求められております。また、急増するインバウンド観光客へのご案内や多様化するニーズへの対応など、更なる高水準のサービスの提供が求められるようになっております。このような状況への対処と更なる成長に向け、JR西日本グループとして「JR西日本グループ中期経営計画2022」や「JR西日本 技術ビジョン」を策定し、目覚ましい進展を遂げるあらゆる「技術」を取り入れることで、将来のありたい姿の実現を目指すことといたしました。そして、現在の弊社が求めている「技術」とはIoTやAIをはじめとする先端情報技術に他なりません。

そうした中で、福知山公立大学に情報学部が設置されることは、弊社はもとより北近畿の経済を支える各種企業にとっても大きな意義を持つものであります。先端情報技術を活用した北近畿発のイノベーションが、北近畿、様々な地方の諸課題の解決につながると信じております。弊社も北近畿に拠点を置く企業のひとつとして、さらに連携を深めることで、新たな価値の創造を共に目指して参ります。

福知山公立大学における情報学部の設置構想に弊社も賛同するとともに、早期に設置されますことを要望いたします。

西日本旅客鉄道株式会社
執行役員 福知山支社長
田中 達也



平成 30 年 12 月 17 日

公立大学法人 福知山公立大学
理事長 井口 和起 様

情報学部を設置に係る要望書

このたび、貴学にて取り組まれております情報学部の設置について下記のとおり、ご要望いたします。

記

福知山公立大学で設置を予定されている情報学部では、AI や IoT などの先端技術を扱える情報系人材を育成されるとお聞きしており、情報化が進む建設業界においても、必要とする人材であります。

しかしながら、少子高齢化が加速度的に進む日本において、地方からの若者人材の流出に歯止めがかからず深刻な問題となっており、建設業界においても、人材の確保は喫緊の課題となっております。

このような中、建設業界においても、AI や IoT、ロボット技術、ビッグデータを活用することで、効率化・自動化を推進し、また安全対策など多岐にわたる取り組みが進められています。

現在、2020 年の東京オリンピックの開催に向け、都市圏では建設業界も慌ただしくなっており、都市圏への若者人材の流出に対する防波堤として、貴学が情報学部を設置される意義は非常に大きいものであると考えます。

つきましては、貴学が育成される情報系人材の輩出に大きな期待をするとともに、あらゆる分野での京都府北部地域の活性化に貢献いただくため、早期の情報学部設置を要望いたします。

株式会社 大滝工務店
代表取締役 大滝雄介



平成30年9月20日

福知山公立大学
理事長・学長 井口 和起 殿

(仮称) 情報学部新設についての要望書

貴学におかれましては、日ごろ地域の活性化及び地域人材の育成につきまして、ご尽力いただいておりますことを感謝申し上げます。

さて、地方創生時代に入って、地域社会は自らの主体的な力量を充実させ、地域社会におけるさまざまな人的・社会的・歴史的資源を総合的に活用することを通じて、新たな未来を切り拓くことが強く求められています。しかしながら北近畿地域は、わが国の地方に共通する人口の急速な高齢化と若者の流出に伴う産業基盤の脆弱性や地域社会の衰退による危機的な状況が深まっています。

弊金庫におきましては、地域経済を支え発展させる使命を達成するために、地域の企業や行政の皆様とともに「地域活性化の実現」に向けて、さまざまな取り組みを進めてきておりますが、都市部に比較して特に若い人材に乏しく、また新しい魅力的な雇用や投資対象が少ないことが大きな問題となっております。

貴学が構想されておられる情報学部は、ICTやAIなどの最先端の情報学の成果を地域社会に適用・還元するとともに、学生を地域社会と共に育て地域社会に貢献できる人財として育成することを目標にしておられると理解しています。ICTやAIは、地域社会の生活や産業の隅々まで浸透し新たな産業形態や生活のあり方を創出する過程で、地方における新たな産業と魅力ある雇用の創出を促進し、人財不足に悩む地域社会の企業活動やサービスに大きな恩恵をもたらすことが期待されます。

危機的状況からの再生が喫緊の課題である北近畿地域にとって、地域社会に視点を定めた情報学部が福知山市に設置されることは、当地域が新たな情報社会の最先端に立ち、そこで育つ若い人材の獲得に有利な条件を得ることとなります。

弊金庫は、地域社会との連携を目指す貴学の情報学部構想の趣旨に賛同すると共に、同学部が早急に新設されることを要望いたします。

京都北都信用金庫
理事長 森屋 松吉



平成30年//月〇日

公立大学法人 福知山公立大学
理事長 井口 和起 様

情報学部を設置に係る要望書

このたび、貴学にて設置に向けて取り組まれております情報学部の早期の設置について下記のとおり、要望いたします。

記

京都府北部地域の農業は、米づくりや畜産を中心に、由良川流域での茶栽培や、1年を通じて様々な品種の野菜が栽培されています。

当地域の農業は小規模農家の割合が高く、また兼業農家が多いのも特徴で、耕作地の維持管理に棚田を活用した米づくり体験事業を実施するなど、耕作地の維持活動にも取り組まれています。

京都府北部の中山間地域の多くは、少子高齢化による農業の担い手不足が深刻な問題となっており、耕作放棄地の増加、従事者の高齢化による生産率の低下が課題となっています。

また、山林に接することからイノシシやサルなどの有害鳥獣による作物被害も深刻な問題となっており、この対策に要する費用も大きな負担となっています。

このような中、近年では、人手不足や生産性の向上に向けた取り組みとして、ICTを活用したスマート農業が推進され、人工知能(AI)やIoT等の先進技術を駆使した農業の高効率化や有害鳥獣対策など新たな農業の可能性が見出されており、若手農業従事者の増加にもつながると期待されています。

このたび、貴学が設置を予定されている情報学部において育成される情報系人材は、あらゆる分野へ貢献できる人材であり、農業分野へも非常に有用であると考えております。

つきましては、北近畿地域の農業の発展のために、貴学から排出される人材に期待するとともに、地域の活性化に貢献いただくため、早期の情報学部の設置を要望いたします。

団体名

代表者名

印

京都農業協同組合福知山支店
支店長 白須 秀 幸



2018年12月17日

福知山公立大学
理事長・学長 井口和起殿

株式会社日進製作所
代表取締役社長 前田昌則



情報学部設置に関する要望書

近年、製造業においても高度な情報科学の活用は重要な施策の一つと考えられます。

弊社におきましても、情報関連の業務は以下のように多岐にわたっており、各々の分野で様々なスキルを持った人材が活躍しています。

一方、京都府北部では、理工系・情報科学系の大学・進学先が無いことによる、都市部・他府県への人材流出や採用難といった厳しい状況が続いております。

斯かる現状に鑑み、貴学に情報関連の学部学科を設置され、即戦力の高スキル人材を育成されますことを強く要望致します。

情報関連業務例（順不同）

- 社内ネットワーク、コミュニケーションツールの管理
- 情報セキュリティ管理
- IoT等による製造ラインの遠隔監視・修理対応・消耗部品管理
- クラウドを活用したデータ管理
- AIによる機械設備の自動最適コントロール
- ビッグデータ解析による市場動向調査
- RPAによる事務作業の自動化

担当：総務部長 田中孝幸

要 望 書

平成 30 年 12 月 19 日

福知山公立大学理事長・学長
井口 和起 殿

情報学部新設構想について

このたび貴学が設置準備を進めておられます情報学部の設置について、以下のとおり要望いたします。

日本は少子高齢化に伴い、8 年連続で人口減少が続くなど、人口減少社会に突入しています。地方においては人口減少のみならず、若者の都市部への人口流出が止まらず、地域社会の衰退が進んでいます。

また、地方経済を支える商工業においては、情報技術を活用した経営戦略、情報戦略に対応できる人材が都市部に比べ非常に少なく、高度情報社会に対応し切れていないというのが実状です。

このような地方社会が抱える問題点を解決し、持続可能な地域経済を確立するためには、地域経済を支える事業者が AI、IoT、データサイエンスといった先端情報技術を駆使し高度情報社会に対応できるような環境整備が重要であり、そのためには、先端情報技術を地方経済に活かしていける創造力、経営力、技術力を持った人材育成が必要不可欠であると考えます。

貴学が目指す地域社会で実践するための情報学は、人財と情報技術の両面から、北近畿地域をはじめとする地方社会の発展、活性化にとって最も必要とされるものと理解し、新設の趣旨に賛同するとともに、情報学部が早期に設置されますことを要望いたします。

WILLER TRAINS 株式会社

代表取締役 寒竹 聖一



要 望 書

平成30年11月27日

福知山公立大理事長・学長
井口 和起 様

情報学部新設構想について

この度、貴学が新たに設置準備を進めておられます、地域社会への貢献を主な目的とされる情報学部（仮称）について、次のとおり要望いたします。

全国的に少子高齢化が進む中、当地域においても、人口の減少と高齢化が急速に進んでおり、地域社会の衰退が大変深刻なものとなっております。その要因の一つには、高等学校卒業後は進学のため転出し、そのまま当地に戻らない若者が極めて多いことにあります。

さらに、当地域の基幹産業である観光産業においては、来訪者が増加傾向にある中、情報技術の導入活用が遅れております。これは、情報コミュニティ技術などに柔軟に対応できる人材の不足に大きな課題があるものと考えられます。これらは、大きな地域課題であり、早急な改善策が求められております。

このような中、当地域の商工業者は小規模な企業が大半であり、時代に適応した経営戦略や情報戦略に対応できる人材の確保が、大企業や都会の企業に比較して非常に難しいのが現状です。また、時代に即応した商品開発やマーケティングへの展開支援についても、行政や商工団体の人材や体制が高度情報社会に充分に対応し切れていない状況にあります。

地域の商工業者によるさまざまなサービスなどは、地域住民の日常生活を根底から支えるものであり、大きな役割を担っております。今後、ますます発展する情報コミュニティ技術や人工知能技術にも的確に対応できる企業経営が求められており、これが企業の持続可能性を高めるとともに、魅力ある地域社会の発展に欠くことのできないものです。

貴大学が目指す地域社会のための情報学は、まさに人材と情報技術の両面から、北近畿地域をはじめとする地方社会において、最も必要とされるものと考えております。是非とも、情報学部の新設を進めていただくとともに、同学部が早急に設置されますことを要望いたします。

宮津商工会議所

会頭 今井 一雄



要 望 書

平成 30 年 12 月 13 日

福知山公立大学理事長・学長

井 口 和 起 様

情報学部新設構想について

このたび貴大学が設置準備を進めておられます、地域社会への貢献を主要目的とする(仮称)情報学部について、以下のとおり要望致します。

人口減少社会に入り、日本全体が経済規模の縮小や人手不足の影響を受ける中で、特に地方に於いては若者を中心とする人口流出が止まらず、急速な人口減少と超高齢化による衰退は、一部の地方に於いては存続が危ぶまれるまで深刻化しております。北近畿地域に於いても同様であり、地方創生を図り持続可能な地域社会を確立するため、若者の UJI ターンや定住促進、また創業の促進や観光振興、円滑な事業承継など潜在力強化に向けた取り組みが進められております。

しかしながら、地域経済を支える商工業の実態は経営基盤の弱い中小・小規模企業が大部分を占め、新たな時代に対応するための経営戦略や情報戦略に対応できる人材面に於いても、都市部や大企業と比較して大きな格差があり、また時代に即応した商品・技術の開発や新たな高度情報化社会に対応し切れていないと云う困難な状況にあります。

地域の商工業者が提供する様々なサービスは、住民生活を豊かにすると共に根底から支えており、地方創生の重要な役割を果たしていますが、前述のように人材不足と生産性向上と云う課題を抱え、それらを克服することが焦眉の急となっております。

対応策として、IoT や AI、ロボットなどの活用が有効な手段であり、ことに初期投資のコスト負担が小さくて使いやすく、中小・小規模企業の身の丈に見合ったものが求められているものの、これらを活用できる社内の専門人材は不足し、外部の支援人材の数も足りておりません。

この時に当り、貴大学が目指す地域社会のための情報学部は、まさに人材と情報技術の両面から、北近畿地域を始めとする日本の地方社会と云う現場にとって、最も必要とされるものであります。是非とも情報学部の新設を進めて頂き、同学部が早急に設置されますことを切に要望致します。

豊岡商工会議所

会 頭 岡 本 慎

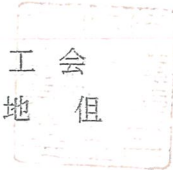


要 望 書

平成 30 年 11 月 14 日

福知山公立大理事長・学長
井口 和起 殿

丹 波 市 商 工 会
会 長 大 地 但



情報学部新設構想について

このたび貴学が設置準備を進めておられます、地域社会への貢献を主要な目的とする(仮称)情報学部について、以下について要望いたします。

人口減少時代に入って、日本全体が経済規模の縮小や人手不足の影響を受ける中で、特に地方においては若者を中心とする人口流出が止まらず、急速な人口減少と超高齢化による地域社会の衰退は、一部の地域社会ではその存続が危ぶまれるまで深刻化しています。北近畿地域もその例に漏れず、地域住民のニーズに応え、持続可能な地域経済を確立するための、ICT, AI 社会に対応した産業構造の改革とともに、各企業における大胆な経営刷新への努力が求められております。

しかしながら、地方経済を支える商工業の実態は、比較的大手の企業においては、新たな時代に適応するための経営戦略や情報戦略に対応できる人材の確保は図れるものの、小規模な事業所においては、ICT, AI 社会に対応した人材を確保することは、非常に難しい環境にあります。

中小・小規模事業者が提供する様々なサービスは、国民生活を日常的に底辺から支える重要な役割を担っております。それらの事業が ICT や AI 等の活用により、社会に対応した経営改革をおこなうことによって持続可能性を確立し発展することは、魅力ある地域社会づくりに欠かせないことと考えております。

つきましては、貴大学が目指しておられる地域社会のための情報学は、まさに貴重な情報人材と情報技術の両面から、北近畿地域をはじめとする日本の地方社会という現場にとって最も必要とされるものと理解しております。是非とも情報学部の新設を進めていただきたく、同学部が早急に設置されることを要望いたします。

平成30年 // 月 / 日

公立大学法人福知山公立大学
理事長 井口 和起 様

情報学部設置に係る要望書

このたび、貴学が平成32年度の設置に向け準備を進めておられます情報学部につきまして、以下のとおり要望いたします。

福知山市においては、人口減少はもとより、生産年齢人口の減少が著しい状態となっております。

我々、企業としましては、生産年齢人口の減少に対応すべく作業効率の向上や業務の標準化・見える化を実施していますが、これにはIoTによるデータ集積が必要となります。

また、このことは自社のみならず、IoT・AIの情報系技術者を有する企業は、大きなビジネスチャンスと捉え、各社取組みを進めているところであります。

しかしながら、北近畿地域にはこれらの人材を育成する専門にした工学系学部がなく、都市部の学卒者の獲得に向け注力しているが、人材の確保は困難を極めている状況であります。

地域の企業が発展する礎には、地域の人材の確保をはじめ、地域の発展が不可欠であります。

人口減少が激しい地方都市が持続可能な社会を構築するためには、貴学の情報学部の設置は極めて意義が高いと考え、本学部から排出される人材に多いに期待しているところであり、早期の情報学部の設置を要望いたします。

福知山重工業株式会社

代表取締役社長 中本 宏樹



要 望 書

平成 30 年 12 月 7 日

福知山公立大理事長・学長
井口 和起 殿

情報学部新設構想について

このたび貴学が設置準備を進められております情報学部について、早期の設置について、以下の通り要望いたします。

日本は、人口減少時代が到来し、地方においては若者の人口流出が止まらず、急速な人口減少と超高齢化による地域社会の衰退が進んでいる。

北近畿地域においても、持続可能な地域経済を確立するため、ICT、AI 社会に対応するべく、各企業においても大胆な経営維新への努力が求められています。

しかしながら、地域経済を支える商工業の実態は、情報化時代の到来の中、経営戦略や情報戦略に対応できる人財が都市部に比較して非常に少なく、小規模な事業所においては、時代に応じた商品開発やマーケティングを支援し事業を発展させるための高度情報社会に対応しきれていないという困難な状況にあります。

地方の商工業者による様々なサービスは、国民生活を日常的に底辺から支える重要な役割を担っています。それらの事業が ICT、AI 社会に対応した経営改革によって持続可能性を確立し発展することは、魅力ある地域社会づくりに欠かせないことです。

貴大学が目指す地域社会で実践するための情報学は、まさに人財と情報技術の両面から、北近畿地域をはじめとする地方社会にとって最も必要とされるものと理解しています。

是非とも、情報学部が早期設置されますことを要望いたします。

株式会社 浅田可鍛鑄鉄所
代表取締役社長

浅田 博史



平成30年11月 27日

公立大学法人福知山公立大学
理事長兼学長 井口 和起 様

情報学部設置に係る要望書

このたび貴学におかれましては、地域社会への貢献を主要な目的とする情報学部を設置する準備をされておられると聞き及んでおります。

ご承知のとおり、企業経営におきましては、グローバルな国際社会の進展に伴い、益々迅速かつ的確に対応することが求められています。

そのなかでわが国の中小企業は、これまで高い技術力と細やかな感性を武器に、世界のトップシェアを獲得する企業を輩出するなど、世界的な評価を受けてきています。

しかしながら、情報化社会の進展に伴い、ICT、AI が急遽に国際社会全体に浸透する一方で、我々中小企業・小規模企業は、それらに対応可能な人材を主として大企業に吸収されてきました。中小企業・小規模企業は人材難に直面し、産業構造の変化に対応が困難な状況になっています。

そもそも情報系の大学は皆無であり、京阪神の大学等は、地域社会における中小企業の世界的展開につながる応用情報技術には対応しておりません。

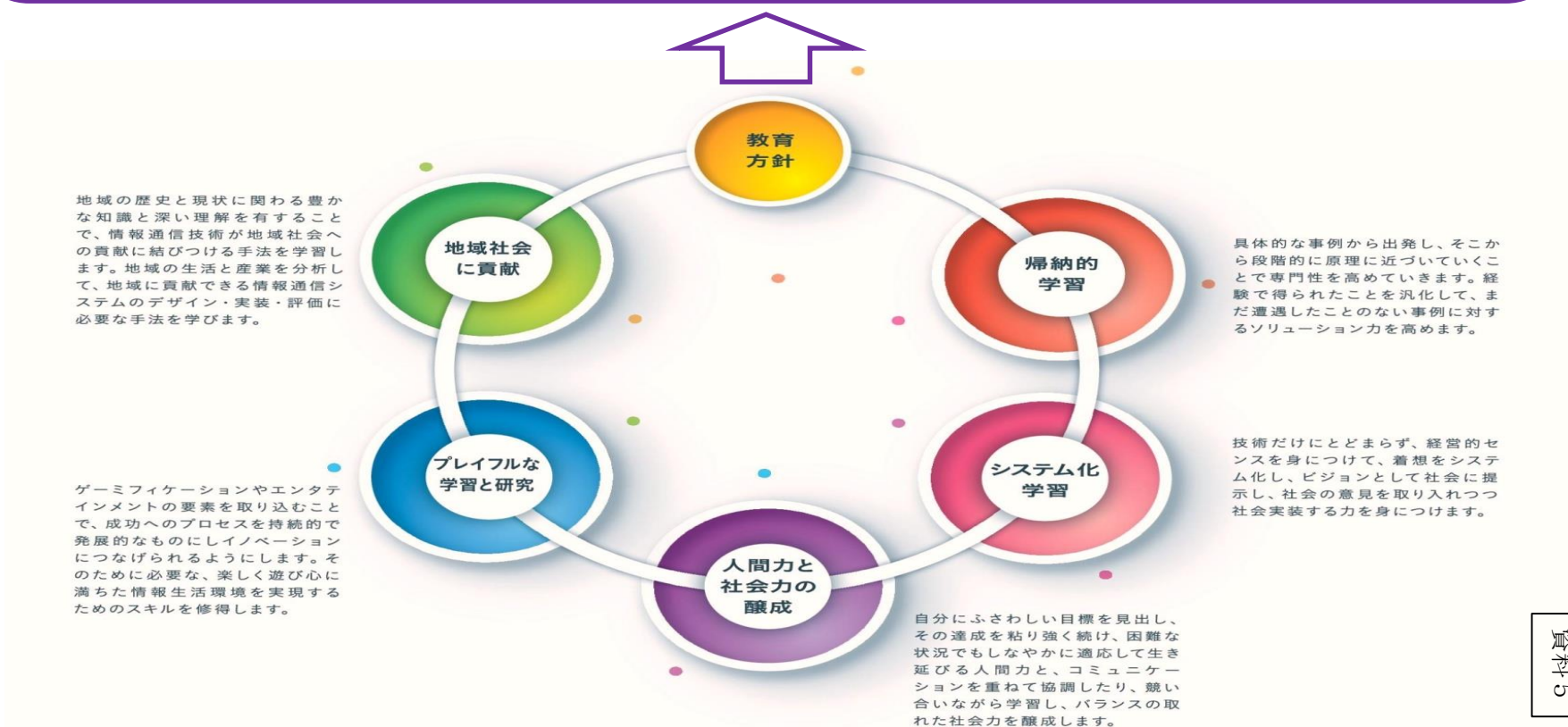
つきましては、地域経済を担う我々中小企業・小規模企業が、さらに発展し多くの若者を惹き付ける魅力ある地域社会を創成するため、地域社会との連携を目指す情報学部構想の趣旨に賛同すると共に、是非とも地域社会の発展を指向する情報学部の新設を進めていただき、同学部が早急に設置されることを要望いたします。

福知山市字中ノ27番地
福知山企業交流会
会長 大槻 毅



《 人財育成6つのカリキュラムマップ 》

- ①情報学実践の基礎となる堅固な基礎学力、基礎技術力を持つ人財
- ②創造的思考力、協働・協調力、情報技術を用いた国際コミュニケーション能力等、社会人に必要となる基礎能力を持つ人財
- ③地域の現実のデータを収集・分析し、地域社会の持続と発展のためのシナリオ作成と評価できる人財
- ④情報システムやアプリケーションの開発等により、地域生活を豊かにする情報基礎盤を構築できる人財
- ⑤人工知能技術やエンタテインメント技術を地域社会に適用できる人財
- ⑥情報の知見や技術を応用・活用して、公共経営、企業経営、交流観光、医療福祉、防災、まちづくり等を発展させることができる人財



	1年次	2年次	3年次	4年次
PBL	<ul style="list-style-type: none"> 地域情報PBL入門 	<ul style="list-style-type: none"> 地域情報PBL基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 地域情報PBL 	<ul style="list-style-type: none"> 地域情報プロジェクト
人間・社会情報学	<ul style="list-style-type: none"> エンタテインメント情報学 メディア情報学 ゲーム情報学 IoT 人工知能 	<ul style="list-style-type: none"> 情報システム ヒューマンインタフェース 機械学習システム 	<ul style="list-style-type: none"> 画像情報処理 音情報処理 自然言語処理 パターン認識と機械学習 	
データサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> データマーケティング サービスエンジニアリング オープンデータ技術 データ理解 	<ul style="list-style-type: none"> 統計的モデルを用いたシミュレーション データ解析ツール 基礎データ解析 	<ul style="list-style-type: none"> データ分析と意思決定 データマイニング 品質管理 統計データモデリング 統計解析 	
情報通信技術(ICT)	<ul style="list-style-type: none"> 情報ネットワーク データベースシステム オペレーティングシステム 計算機アーキテクチャ 	<ul style="list-style-type: none"> 地理情報システム 組込みシステム 分散システム 情報セキュリティ プログラミング言語処理系 	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズム論 計算理論 論理設計 情報符号理論 信号情報処理 グラフ理論 数値解析 	
IT実習	<ul style="list-style-type: none"> (Ⅰ)データ解析演習 (Ⅱ)ハードソフト実習 	<ul style="list-style-type: none"> (Ⅲ)メディア情報処理実習 (Ⅳ)複合現実実習 	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ実習Ⅰ、Ⅱ 	
基礎	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンス入門 インターネット コンピュータプログラミングⅠ コンピュータプログラミングⅡ 統計学 線形代数基礎 微分積分基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 情報学アカデミックスキル 線形代数 微分積分 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術コミュニケーション 	



実践レベル、基盤レベル、理論・基礎レベル

福知山公立大学情報学部 カリキュラムツリー

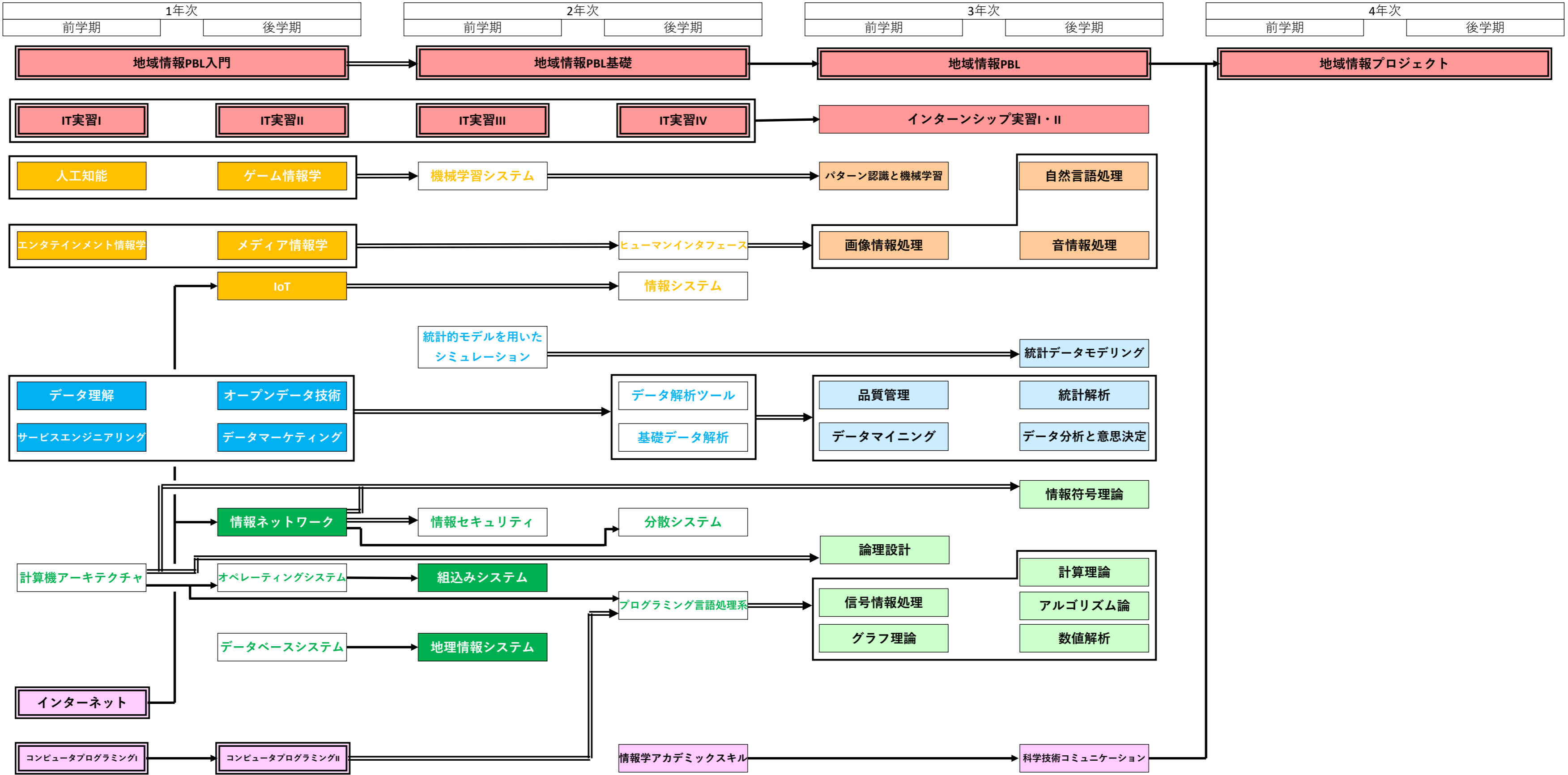
情報学を応用・活用

人間・社会情報学

データサイエンス

情報通信技術 (ICT)

基盤となる基礎技術力



カリキュラムツリーの見方

- ・一重線矢印 → は、終点の科目を履修する前に始点の科目を履修しておくことが望ましいことを表す (演繹的な前後関係)
- ・二重線矢印 ⇨ は、始点の科目を履修した後に終点の科目を履修するとより理解が深まることを表す (帰納的な前後関係)
- ・同じ枠で囲まれている科目同士は互いに関連が強く、前後に配置される科目が同一であることを表す

科目名の枠について

- : 必修科目
- : 選択科目

人間・社会情報学、データサイエンス、ICT科目の系の別について

- 科目名 : 実践系科目
- 科目名 : 基盤系科目
- 科目名 : 理論系科目

人間・社会情報学、データサイエンス、ICTの専門科目群については各科目の配当年次が2年間にまたがっているが、見易さのため、1・2年次配当科目は1年次に、2・3年次配当科目は2年次に、3・4年次配当科目は3年次に配置した。これらのトラック間の矢印や共通科目との関係は省略している。詳細は各科目シラバスの「他科目との関係性」の欄を参照すること。